

## 7. 情報発信・広報活動等

### ①研究活動等の公開状況（講演会、公開講座等）

シンポジウム・講演会		公開講座・セミナー		その他 (施設等の一般公開等)		合計	
件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数	件数	参加人数
6	249	15	836	2	34	23	1119
○主なシンポジウム、公開講演会、施設等の一般公開の開催状況							
開催期間	形態 (区分)	対象	公開講座等名称	概要	参加人数		
H29.7.26	シンポジウム	国際	Strategies for the Control of Ticks and Tick-borne Diseases	国際シンポジウム「マダニとマダニ媒介感染症の制御戦略」が日本学術振興会拠点形成事業（アジア・アフリカ学術基盤形成型）の一環として実施された。学外から10名（海外8名・国内2名）の招待演者および学内からの8名の一般演者による最新の研究成果が発表され、活発な議論が交わされた。	50		
H29.8.27 ～8.30	研究会	国内 国際	第25回分子寄生虫学ワークショップ/ 第15回分子寄生虫・マラリア研究フォーラム合同大会	分子を合言葉にした寄生虫研究の横断的研究集会で、寄生虫、節足動物、寄生虫症・マラリアの基礎研究に係る46名の研究者・学生が参加した。“Scienceの場では皆が平等である”というスタンスのもと、活発な議論が繰り返される内容の濃い研究集会となった。 (本学世話人：西川義文、河津信一郎)	46		
H29.9.11	シンポジウム	国際	The 1st International Japan-Mongolia Joint Symposium on Protozoan Diseases Prevention	SATREPS PROJECT FOR EPIDEMIOLOGICAL STUDIES ON ANIMAL PROTOZOAN DISEASES IN MONGOLIA AND DEVELOPMENT OF EFFECTIVE DIAGNOSTIC MEASURES	29		
H29.11.14	セミナー	国際	上海獣医学研究所との共同研究セミナー	日中合同セミナー（マダニとマダニ媒介感染症の制御戦略）	21		

H30.3.6	研究会	国際	原虫病研究センター共同 研究成果報告会	本研究センターと他大学の先生方とで実施した、共同研究の成果報告会 発表者 (Speaker) : 鹿児島大学共同獣医学部 附属越境性動物疾病制御研究センター 准教授 正谷 達磨 氏 北里大学獣医学部 獣医寄生虫学研究室 准教授 筏井 宏実 氏 公益財団法人微生物化学研究会・微生物化学研究所 上級研究員 二瓶 浩一 氏 早稲田大学 先進理工学部 教授 中尾 洋一 氏	25
---------	-----	----	------------------------	--	----

## ② 定期刊行物やホームページによる一般社会に対する情報発信の取組

情報発信の手段・手法	概要およびわかりやすい情報発信のための工夫
ホームページ	センター専用のホームページ（日本語版・英語版）を開設し、研究活動を国内外に向け、広く紹介している。なお、研究内容は研究者のみならず、一般市民に向けても、理解が得られるよう、工夫しており、例えば、多くの原虫病を媒介し、人や動物に甚大な被害を与えている「マダニ」の研究については、「マダニ解説ビデオ」を制作し、公開している。 また、平成 29 年度には OIE コラボレーティングセンター及びリファレンスラボラトリーの専用ホームページを新たに作成し、実施可能な「ウマピロプラズマ病」「ウシバベシア病」「スーラ病」の 3 疾病に関する情報と検査依頼手順を公開する等、発信する情報量を充実させている。
SNS	研究ジャーナルや人材育成活動などの情報を発信するため、Facebook を開設し、研究成果等の情報を公開するとともに、研究者コミュニティや一般ユーザからのレスポンス把握に利用している。
パンフレットの作成	毎年センター概要や研究活動を紹介したリーフレット（日本語版・英語版）を作成し、国内外の関係機関への送付や公共施設への設置、市民が来場するイベントでの配布等により、センターの活動について広く周知している。